

全国ボランティアコーディネーター 研究集会2006



全国から「からほり」に集まった600名

社会福祉や中間支援に関わる分野の参加率が高いものの、企業からの参加もあつたりと、活動分野や立場を越えた市民参加を支える専門家同士の活発な議論

「基礎・入門編」は237人、「研究・実践編」は232人で、講師やスタッフを加えると関係者は約600人に及ぶ大きな大会となりました。

プログラムの新任担当者向けの「基礎・入門編」と、経験者が学びあい力量を高めあうことを目指す「研究・実践編」の2つです。それぞれ2日間の日程で行われました。さらにその2つのコースのなかで、「基礎・入門編」が14分科会、「研究・実践編」は21分科会に分かれて、時間が足りなかったのでは、という声もあがったほど熱く議論を交わしました。受講者数は、「基礎・入門編」は237人、「研究・実践編」は232人で、講師やスタッフを加えると関係者は約600人に及ぶ大きな大会となりました。

当日の配布資料では、高齢者外出介助の会作成の、近隣のお食事スポット付お散歩マップが掲載された「からほり新聞特別編」が大好評。ランチタイムはもちろん、からほり界隈の賑やかで思わぬ発見もできる町歩きのお供として、他府県からの参加者にも大変喜ばれました。商店街の昔ながらの雰囲気も、参加者の心をなごませてくれました。

(大阪ボランティア協会 赤塚正実)



ボランティアコーディネーションに携わる人々が全国から参集する「全国ボランティアコーディネーター研究集会2006」(主催/同実

行委員会、日本ボランティアコーディネーター協会)が、2月24日(金)から26日(日)まで、谷町6丁目大阪社会福祉指導センター、大阪府社会福祉会館他で開催さ

からほり新聞

第9号
(2006.4.4)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
◆美しい石畳や木造家屋に「コ」は似合いません。
◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

論の場として、また知識や技術をよりいっそう磨く機会として大いに活用していただくという今大会の目的を、充分達成できました。

当日の配布資料では、高齢者外出介助の会作成の、近隣のお食事スポット付お散歩マップが掲載された「からほり新聞特別編」が大好評。ランチタイムはもちろん、からほり界隈の賑やかで思わぬ発見もできる町歩きのお供として、他府県からの参加者にも大変喜ばれました。商店街の昔ながらの雰囲気も、参加者の心をなごませてくれました。

からほり伝言板

かみなり亭寄席 奇数月の第2土曜日午後6時30分より。会場:薬業年金会館。出演:笑福亭一門ほか。問い合わせ:06-6768-3549

楓ギャラリー www.7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/
▶4/4~23山本羅介-羅介はんの絵付市(庭ギャラリーにて)▶4/11~16陶・松崎芙美子のしごと▶4/25~30田崎博和・野口ちとせ「竹紙と音の二人展-虚空の中心-▶お問い合わせ ☎6761-0388▶ホームページでは展示内容がご覧になれます。

「第11回 たなかやすこおはなし会」
▶5月27日(木)午後2時開演(午後1時30分開場)▶薬業年金会館3階大ホール(谷町六丁目駅4番出口直結)▶前売り券1,500円(当日2,000円・要予約)▶申込先6765-5571(田中康子・FAX)▶プログラム:第1部・動物のお伊勢まいり、山の上の火(エチオピアの昔話)、死神どんぶら(斉藤隆介作)、わらべ歌(松本久美子)。第2部:私の大阪(一庶民の戦中戦後史)田中康子作

☆編集後記

◆冬から春はお隣の松屋町が元氣。雛人形、五月人形、脈々と受け継がれていて不思議。日本ってやっぱり伝統立国? (山本)
◆行つ戻りつのも春もやると本番。東平北公園の雪柳が見事です。(山名)
◆花の季節。椿が落ちて、梅がこぼれて、桜が散った後の木連が好き。夜見ると、ふわふわ深

う魂みたいで。(高田)
◆春眠暁を覚える?やけに朝早く目が覚める今日この頃。(山添)
◆銭湯で90歳のバワイもいらした。一の湯は人情もお湯もあふれています。(永井)
◆三寒四温、春の嵐、もうすぐお花見だ(干場)
◆小学校の卒業式、中学校の入学式に出席。何だか親の私も気持ち新たにりました。(嶋)

高齢者外出介助の会 News

お年よりの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- 【からほりさろん】
- 懐かしい映画の会(毎月第2・4土曜日午後2時から)
 - 食事会(毎月第3木曜日12時から)一人暮らしや食事作りが少し億劫になった皆様の参加お待ちしております。参加費400円(材料代300円、光熱水費100円)
 - 絵手紙(毎月第4水曜日午後1時30分から)
- 【その他のプログラム】
- 「みんなで集う・春のコンサート」6月4日(日)大阪府立ドーンセンターにて、午後1時30分から
 - 「マイケアプラン講座」介護保険を学び、自分でケアプランを立ててみましょう。大阪社会福祉研修指導センターにて、5月26日(金)5月30日(火)時間午後2時~午後4時

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②在宅支援(家の修理、家具の移動)
- ③入院支援(入退院時同行、洗濯、買い物など)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、絵手紙くらぶなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥車椅子、シニアカー貸出
- ⑦「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
(おとうぶ屋さんのおとなり)
TEL&FAX 06-6764-4002
月~金(10:30~15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: www.9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださるお店も大募集。
「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在45カ所設置)

マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。
見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。

指導:北口 桂

司法書士 干場悦子(ほしば・えつこ)

不動産登記全般/売買、贈与、相続登記など
会社の登記全般/成年後見、遺言書作成相談

中央区松屋町3番23号 第一松屋ビル772号室
桜井義浩司法書士事務所内

TEL.06(6764)0889 お気軽にお問い合わせ下さい。

もっぴとつこの空堀通り

上町台地は歴史の宝庫、大阪発見の舞台でもある

空堀通りといえば、上町筋から西へ入って、主に谷町筋と松屋町筋の間の繁華街を指すが、戦前わたしの子供時代、「空堀へ行く」といえば、市電の東雲町停留所（現在の清水谷高校バス停）を渡った商店街のことだった。公設市場があり、店舗が並んだ賑やかな一帯で、子供心に、俵から牡蠣を出して殻を剥いている店があったのを憶えている。

空堀通りの始まりは市電の玉造停留所だった。終点と親しみをこめて呼ばれていたのは、築港からの幹線の文字通りの終点で、城東線（現在の環状線）を潜れば、もう畑や空き地が多くて、市内とは呼べない町外れだったからだ。

終点の境界が栄えていた大きな理由は、帝国最大の軍事工場の一つ、陸軍造兵廠が森の宮から京橋へかけて拡がり（現在の大阪城公園の地にあたる）、この地域が労働者で溢れかえっていたからだ。わたしの父も祖父も工場の旋盤工だった。明治一九（一八八六）年、大阪の砲兵工廠が、戊辰戦争以来の青銅の大砲を鑄造して、靖国神社の大鳥居を造り、海上を東京へ運んだとき、担当者のなかの一人にわたしの祖父がいた。

玉造はまたお笑いを生む町でもあった。ボヤキ漫才の始まりの都屋文雄は玉造小学校でわたしの叔父の同級生だったし、玉造稲荷神社の裏の、いまは玉造小学校の敷地の一部になっている、

わたしが幼稚園時代住んでいた三軒長屋の入り口の大きい家には、森光子の代表作「おもしろい女」で知られる玉松一郎・ミスワカナの表札がかかっていた。日の出通りの演芸館三光館は漫才師たちの登竜門で、ここで認められてミナミの南地花月などへ引き抜かれた。エンタツ・アチャコの初舞台もここである。漫才生みの親の秋田実も玉造生まれで、空堀通り付近どんどろ大師（土井殿大師がなまつたという）の近くという。玉造稲荷神社に、「秋田実笑魂碑」が建立されて、今でも夏祭りにはお笑い演芸が奉納される。

大阪の文学を読む会 福田紀一



ケラ子の介助日記 狸は飼われてる方が珍しい

高齢者外出介助の会 事務局長 永井佳子

今回は、介助とは直接関係ありませんが、印象に残っているお話を。10数年前、毎朝早く淀川までの道を往復していたころの話です。ある朝早く国道一号線を淀川に向かって歩いてみると、動物が道の真ん中に倒れていました。何だろうと近づくと狸です。今しがた交通事故ではねられたようです。可哀想に思っただけですが、その時は歩くのが優先で心を残しながらも立ち去りました。

家に帰ったのですが、狸のことが気になり「道の真ん中で倒れていたから、車に再び轢かれたら可哀想！」もう一度そのままだった家に持ち帰ろうと思いきや、現場に戻ってみることにしました。狸は口から血を流して既に死んでいました。ダンボール箱に入れて持ち帰りましたが「もしかしたら最近はいろんな動物

を飼っている人が増えたので飼われていたのかも」と、気になって、近くの派出所に行きました。「狸がいなくなつたと届いていませんか？狸が交通事故で死んでいるのです」それを聞いた警官は、「あんな、狸は交通事故と言わん。無茶言う人や。明日にでも枚方市のごみ処理係まで連絡し。」

二月末、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が閣議決定され国会に上程されました。これはバリアフリー法とハートビル法という、二つの法律を一つの新しい法律に統合しようとするものです。バリアフリー法は、高齢者や障がい者が交通施設を使いやすくする法律（最近駅にエレベーターが増えているがその一例）で、ハートビル法は、建築物のバリアフリーを進める法律です。どちらも高齢者や障がい者の生活に関わる大切な基準が決められています。パリヤク法は、一日五千人以上の乗降客がある駅に義務づけられており、ハート法は既存の建物には適用されないなど、



街の車いすおじさんから② 高齢や障害のために車椅子生活になることは誰にでも起こるかも...そんなことになって気が付いたり考えたことを連載で。

高齢者の方々が外出される時の 外出介助ボランティア求めています。

通院、お買い物、お墓参り...などなど。

詳しくは当会事務所までお願いします。

高齢者外出介助の会 ☎06-6764-4002

たまり場 すがんぼ

電話 (06) 6764-4643 17:00~23:00(日曜日休み)

すがんぼ鍋(ホルモン鍋) ちげ鍋(明太・豚肉・豆腐) ちぢみ/ム/海鮮サラダ 骨つきカルビ 上ミノみぞやき 生レバー/コッテ 赤センボック

北 ③番出口 空堀商店街 ●すがんぼ

谷町筋 谷町六丁目、南③番出口より徒歩5分弱。空堀商店街東筋入る、スグ北側 (谷町6-3-10 広橋ビル2F)

地域福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願ひ致します。共同募金は、10月1日~12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

筆・硯 半紙 書道具一式

筆墨硯紙 玉林堂

〒542-0012 大阪市中央区谷町6丁目4-8 新空堀ビル1F TEL 06-6763-0045 FAX 06-6768-4856 http://www.bell.ne.jp/gyokurin/

勝手にからほり 雑見ニュース

「研ぎ屋のおっちゃん」がやってくる!



ほぼ毎週火曜日、葉葉年金会館の前からちよつと南に下った歩道に「研ぎ屋のおっちゃん」がやってきました。この人は高橋泰治さん、何と77歳の喜寿。お話を聞くと、元は大工だったそうで隠居後の手慰みと実益を兼ねて色んな場所に出かけて研ぎ屋をしているのだとか。「また頼むわ」と、毎

度研ぎを依頼する常連さんも多い様です。編集員高田も、愛用の包丁を研いでもらいましたがスツパスバの斬れ味に！しかも、自分で研ぐより切れ味が長持ち。これぞプロの仕事。みなさんも一度頼んでみてはいかがですか？ 料金は包丁500円、ハサミ300円、600円といったところ。時間は1時間くらいです。

高齢者に身近な手続きや制度についてご紹介します。

司法書士 干場悦子(ほしばえこ)

遺言

今回のテーマは遺言です。「遺言なんて財産がある人がすることだ」「私の子供達に限って相続争いなど起こるはずがない」と思う方も多いでしょう。昔は長男や家業を継ぐ子が

せんが、主張と主張の衝突が親族間で思いもよらない軋轢を生むということも珍しくなくなりました。
(事例1) 大阪で長男家族と同居している七十歳のAさん。妻は既に亡く、東京に次男の財産(預貯金五百万と自宅土地建物合計一千万相当)の相続が心

配になってきました。遺言がなければ長男と次男が平等に二分の一ずつ相続します。しかし長年同居して自分を支えてくれた長男に土地建物を残してやりたい気がします。自分の死後、次男が「兄さんが土地建物を相続したら」と言ってくれば良いですが、そうとは限りません。一方、東京で暮らす次男は、実家の援助も受けずローンで家を買った、堅実にやっています。五百万円は次男に相続させるのも良いかもしれませんが、このようにいろいろと相続について考えてみるのが、遺言書を作る第一歩です。今回は具体的な遺言書の作り方についてお話しします。

快傑！からほり人

快傑ファイル其の八(前編)

からほりの「お話」語り部 たなかやすこさん

ストーリーテリングとは、昔話や文学作品を語り聞かせる話芸のこと。たなかさんは、これを「お話」と呼び、プロとして自分の言葉で語り聞かせ、生きる力を表現している。からほり出身、穏やかでピュアな69歳。そんなたなかさんの人生の物語を、前編と後編に分けてお届けする。



「お疲れ様。いやあ、そうですかあ。住んでる所の伝承ですか。ええ話やわあ。勉強になりましたわ」。お話の発表を終えて緊張を解く参加者に拍手を贈りながら、たなかさんが感想を

伝える。毎月第2土曜のお昼、たなかさんが主催している「おはなしサロン」でのひとコマだ。お話を聞きたい人や自分もお話をした人たちが、たなかさんの家に集う。この他、保育園や小学校、地域の公民館などに出かけてお話をするのが、たなかさんの主な活動だ。

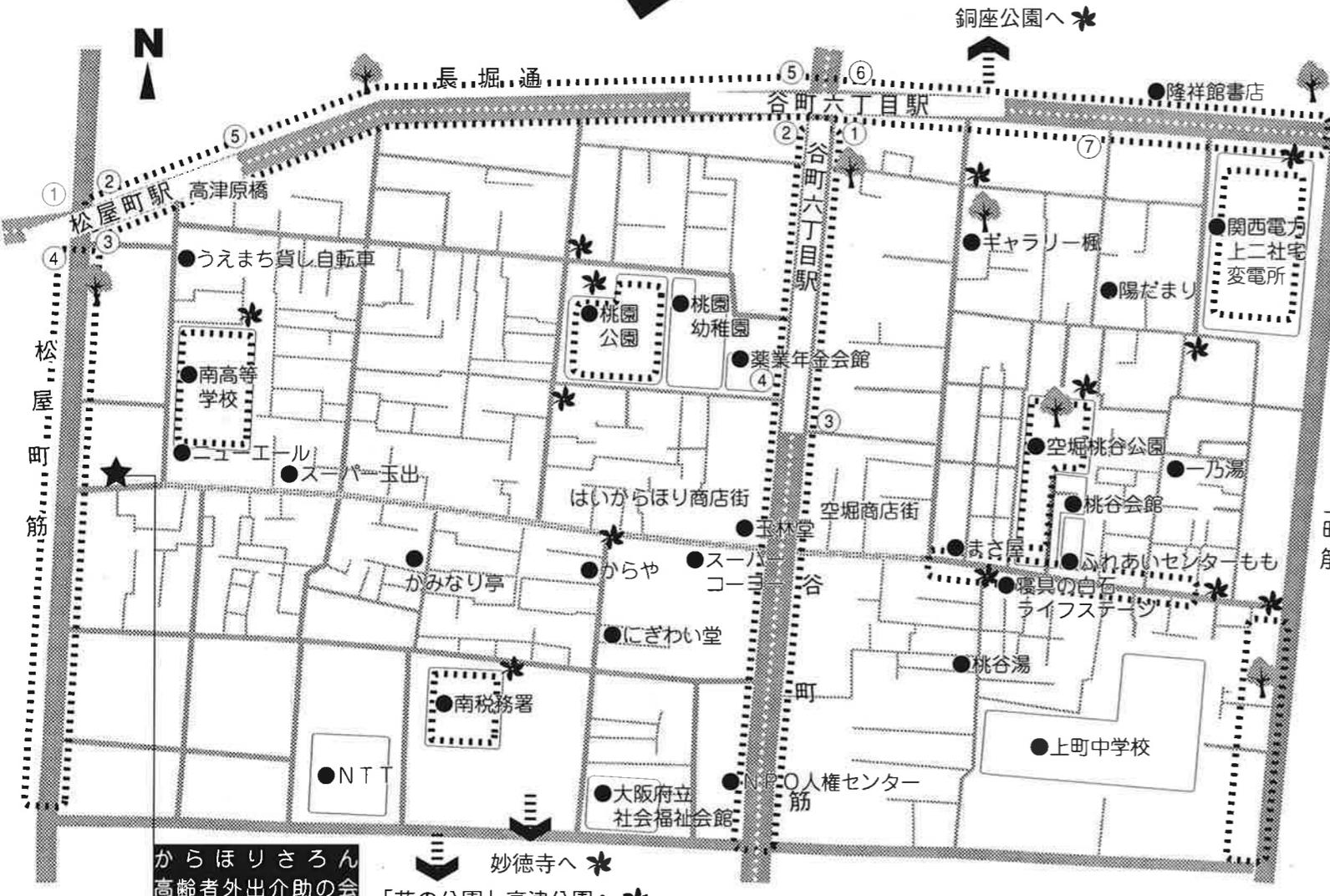
そして、たなかさんはお話の後、参加者と感想を語り合いながら、「お話には、その人の人(人)が、人生が出るんです」と、何度も言う。たなかさんにとって、お話とは自分を表現し、人と人生を分かち合うもの。それは、たなかさんの全てであり、自分らしく生きる力を与えてくれるかけがえのないモノでもある。

そんなたなかさんが、お話を始めたきっかけは30年ほど前。結婚して羽曳野に住んでいた頃、寄付を募って地域の公民館に「子供文庫」を設けて、ボランティアで子供たちに絵本の読み聞かせをしていた時の事だ。ある時、近所のヨシコちゃんという女の子が、「読み聞かせではなくておぼちゃんのお話だけで聞かせてえ」と、せがんできた。戸惑いもあったが、日を置いて「三枚のお札」という秋田県の昔話を暗記し、大阪弁にして聞かせてあげると、ヨシコちゃんは目を輝かせながら身を乗り出して夢中で聞き入ってくれたらしい。これは、たなかさんにとって

も刺激的な体験だった。「本が無いから、目線を合わせるでしょ。せやから、お互いの気持が通じ合うんです」。そして、言葉を超えて共有できる空気も生まれる。ヨシコちゃんは、後日友達を連れてお話を聞きに来たほど喜んだらしい。やがてそれが近所の評判となり、いつしかたなかさんは「お話のおぼちゃん」と呼ばれ、保育園や学校に招かれてお話をするようにになった。「お話を聞くとときのキラキラした目が可愛らしくて、嬉しいね。わたしのお話は子供らに育ててもらってます」。しかし、この当時はまだボランティアの延長。あくまでも楽しい趣味のようなものだった。やがてたなかさんは故郷であるからほりに帰って来て、「おはなしサロン」を開く傍ら、プロとして本格的に活動を始める。そして、「お話には、その人の人(人)が現れる」と語るその想いは、故郷の懐かしい温もりの中で、還暦を迎えた身に大挙して押し寄せて来た辛苦の生活と、そこから這い上がった時につかみ取ったものだ。その物語は後編にて。次号のからほり新聞をお楽しみに。

(高田次郎)

からほり界隈お散歩MAP



～其の9「からほり界隈の花・緑スポット」の巻～



① 桃園公園の梅



② 玄関先を彩るジンチョウゲ

吹く風がどこかさわやかに、寒さもようやく落ち着いてきました。季節はもう春。散歩が楽しい季節となりました。みなさんも特に目的もなくぶらぶらしたいなあと感じているのではないのでしょうか。そんな時は、お散歩マップを片手にまちに繰り出してみましょう。

さて、今回は春らしく、からほり界隈の花と緑にスポットをあててみました。まずは公園からご紹介。からほり界隈には2つの公園があります。春になり、桃園公園には、梅、椿、ハクモクレンなどの花が彩りを添えています。元々小学校だったこの公園は、今では子どもを連れた若いお母さんの交流の場になっています。空堀桃谷公園はグラウンドがあり、大きな楠の横では子ども達の元気な遊び声が聞こえてきます。この公園は、横の道との高低差が大きく、道を歩いていると普段は見下ろす形になるユキヤナギを目線の高さで楽しめます。

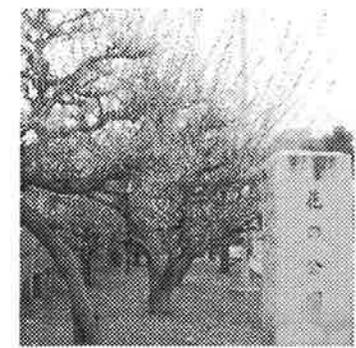
界隈をぶらぶら歩いていると、各家の前にもたくさんの花々が見られます。パンジーやジンチョウゲ、ユキヤナギ、ツツジ

などが玄関先を彩っています。また、マンションのエントランス部分にも春の息吹が感じられます。ちょっとした花々があるとうれしくなるのは私だけではないようで、マンション前の花を一生懸命写真に写す人の姿も見られました。また、花屋さんも魅力的なお花スポットの1つです。界隈には、お花と風船と一緒に売っている、ちよっとおもしろいお店もあつたりします。

からほり界隈周辺では、北には銅座公園、南には高津宮とその隣りに「花の公園」とも呼ばれる高津公園があり、約20種類の桜の名所としても知られています。

みなさんも自分だけのお花見スポットを探してみませんか？歩き疲れたら、「からほりさろん」に立ち寄って、自分の見えてきたものを語って頂くのも結構です。(ちなみにさろんは元花屋さんでした) 編集部では、まちの楽しい歩き方を募集中です。あなただけのまちの歩き方があれば、気軽にからほりさろんまで話しに来てください。

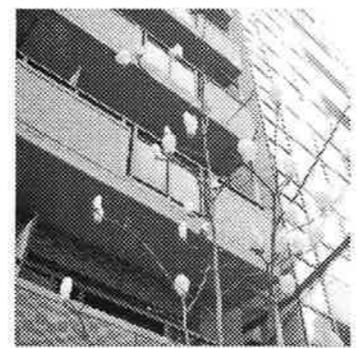
(山添晋太郎)



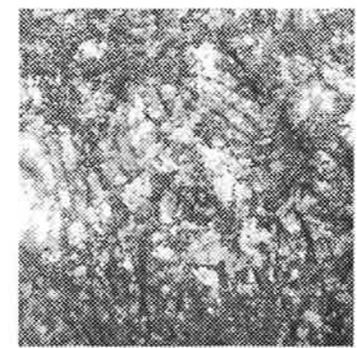
⑦ 約20種類の梅が植えられている「高津公園」



⑥ 銅座公園の桜の木



⑤ マンションのエントランスを飾るハクモクレン



④ 目線の高さで楽しめるユキヤナギ



③ お花と風船のお店